

平成22年度 東京都立工芸高等学校経営報告（全日制）

1 今年度の取組と自己評価（達成度100点満点）

本校は100年の伝統のもと、日本の工業・工芸・デザイン教育をリードし、専門高校の可能性を拓くモデル校を目指している。このような教育活動は内外からも注目を受け、今年度も外国の視察団の訪問が相次いだ。各種コンクール受賞を果たす高い専門技能の習得はもとより、大学進学実績も伸ばし、山岳部がインターハイ、関東大会出場を果たすなど多岐に渡る生徒の活躍は目覚ましいものがあった。また、文化祭には5000名近い見学者が来校し、保護者会・授業参観、OBに聞く会、ものづくり体験教室等に年間1万2千名を超える来校者があり、都民に開かれた学校となっている。

(1) 教育活動の取組と自己評価

① 学習指導への満足 (80点)

進路が就職から美術工芸系大学等の進学を希望する生徒・保護者の要望に応えるため、基礎的・基本的な学力の充実と個々の生徒に対応できる幅広い選択科目の設置を盛り込んだ教育課程を展開した。更に、長期休業日中における、補習・補講講座や進学対策講座等を開講して、個に応じた指導の充実に努めた。その結果、授業満足度が77%（昨年度76%）と高い水準を保った。

② 進路指導への満足 (90点)

キャリア教育の全体計画に基づき、年度末の春季休業中に第2学年でインターンシップ（2日～3日間・28社・41名）実施を予定したが、地震により、今年度中止。デッサン・プレゼン講習会の実施、保護者向けの進路講演会、就職講座、各教科の補習・補講講座等に加え進学対策講座の充実を図り、多様化する進路希望に対応するための長期休業日中の講座を58講座開講（昨年度64講座）して、受講者は1205名（昨年度1369名）。進路指導満足度は、72%（昨年度73%）と高評価を維持することができた。また、土曜講習を開講し、前期87名、後期142名の参加を得ている。4年制大学の主な進学先は下記のとおりである。

東京学芸大学、東京海洋大学、広島市立大学、多摩美術大学、武蔵野美術大学、日本大学、東京工芸大学、東京造形大学、女子美術大学、明治大学、東海大学、宝塚大学、拓殖大学、相模女子大学、國學院大学、東北芸術工科大学、大阪芸術大学、京都造形芸術大学、目白大学、千葉工業大学、他

③ 生活指導への満足 (80点)

HR活動や生徒集会をとおして基本的な生活習慣の確立に向け指導の充実を図った。また、セーフティー教室、交通安全教室等を実施し、日常生活の安全に対する意識の向上に務めた。更に、担任と保護者との連絡を密にして、遅刻や欠席の多い生徒の指導に留意した。その結果、生活指導に対する満足度は68%（昨年度68%）と昨年度の改善が維持できた。保護者の満足度は80%（昨年度78%）と高く一定の評価が得られていると判断できる。

④ 特別活動への満足 (95点)

生徒の工芸祭や体育祭等の特別活動への取組は非常に活発で、学校組織及び教職員の対応も充実しており、これらの取り組みの成果は外部からも高い評価を得ている。その結果、職員、生徒・保護者の満足度90%と例年のごとく非常に高い。生徒の自主性や創意・工夫を取り入れる指導をしている。また、各種コンクール等への参加も積極的に取り組み、実績もあげている。各種コンクールの主な結果は以下のとおりである。

アートクラフト科

- ・手工芸美術展 日本手工芸文化協会会長賞 委員長賞、奨励賞、一等賞2点、二等賞、三等賞、佳作2点、他入賞計31名(21名)

- ・優秀板金製品技能フェア学生作品の部 銀賞1名、奨励賞1名(21 歳)

マシンクラフト科

- ・第29回本田宗一郎杯Hondaエコノパワー燃費競技大会 完走
- ・第21回優秀板金製品技能フェア学生の部 銀賞 協同制作「複葉機」優秀賞1名 奨励賞9名
- ・第22回優秀板金製品技能フェア学生の部 協同制作「月着陸船」出品中

インテリア科

- ・高校生ものデザインコンテスト(デザイン部門)(クラフト部門)最優秀賞・優良賞、他4名
- ・デザイン甲子園 全国家具組合連合会長賞、市議会議長賞、
- ・丹波の森ウッドクラフト展 丹波の森ウッドクラフト実行委員長賞
- ・東京都建設系高校生作品コンペティション2009 (家具部門)最優秀賞・優秀賞・佳作、(ホスター部門)最優秀賞、(建設模型部門)審査員特別賞・優秀賞・佳作
- ・(製図部門)優秀賞・佳作(実習部門)優秀賞・佳作
- ・若年者ものづくり競技全国大会 家具部門 優勝(厚生労働大臣賞)、2位
- ・九州産業大学 建築設計競技 二等賞
- ・全国工業高等学校長協会主催「家具とアート作品コンペティション」最優秀賞、優秀賞3名・審査員特別賞
- ・高等学校インテリア科デザインコンテスト 最優秀賞、JAFICA賞

グラフィックアーツ科

- ・第22回道のある風景写真コンクール 金賞1名 銀賞1名
- ・未来を拓く体験発表会ポスター 採用
- ・全国高校生ポスターコンクール 入選
- ・平成21年版 環境・循環型社会白書表紙絵コンクール 佳作
- ・全国地域安全運動モデルポスター 振り込め詐欺防止部門 優秀賞
- ・防犯ポスターコンクール 優秀賞
- ・文京区「いきいきシニアの集い」ポスターデザイン 最優秀賞1名優秀賞1名
- ・文京区「いきいきシニアの集い」リーフレット表紙デザイン 採用
- ・文京区「高齢者元気生活のための体力アップフェア」ポスターデザイン 採用
- ・川の写真コンクール 銅賞1名 努力賞3名 特別賞1名
- ・「ものづくり人材を育てる工業高校」掲示物デザイン 採用
- ・未成年者禁煙防止ポスター 最優秀賞1名 優秀賞2名
- ・未成年者飲酒防止ポスター 佳作1名
- ・東京都教育委員会消費者教育啓発リーフレットデザイン 採用
- ・デジタルアートグランプリ 入選
- ・GATSBY 学生CM大賞2009 モバイル賞

デザイン科

- ・産業教育振興中央会「翔」表紙に採用2名
- ・第16回全国高等学校デザイン選手権大会 入選(1チーム3名)
- ・第24回“銀の卵賞”毎日・DAS高校生デザイン賞入選 2名
- ・「文京区社会を明るくする運動イラスト」 イラスト採用
- ・文京区保護司会会報「情報」 イラスト採用

また、資格取得も活性化し、始業前授業等で取得者も倍増した。

⑤ 健康づくり (60点)

専門医派遣事業の指定を受け、精神科医をアドバイザー迎えた校内研修(事例検討会)を実施した

が、カウンセリング等の必要な生徒の支援を行う相談体制の整備は進んでいない面があるが、個々の状況に応じて教育相談センター等の活用が進んだ。さらに、組織化された体制の構築が急務である。昨年度までのスポーツ推進指定校としての成果は女子山岳部インターハイ出場に象徴されている。

⑥ 募集・広報活動 (95点)

本校の特色ある専門学科と競合する総合芸術高校学校が開校したことから、3年前より募集対策を最優先重点課題として取り組んだ。都内公立中学校を対象とした出前授業や体験学習、学校説明会・授業公開、個別相談会等従来の取り組みに加え、3年目の小中学生対象の夏休み工作スタジオ、創造ものづくりフェアなどを活用した宣伝活動を実施。また、生徒による学校説明会の実施、更には校舎に懸垂幕を設置するなど積極的な広報活動を展開した。こうした対策により応募倍率を維持したが、今後も本校を取り巻く環境は厳しい状況にある。

⑦ 学校経営組織体制 (70点)

現主幹の育成と人材の掘り起こしを継続的にすすめている。管理職選考や主幹選考の受験者を輩出し意識の向上や主幹を中心とした組織づくりをおこなっている。その結果、5人体制の主幹のうち1名が平成22年度管理職候補合格者となった。重点課題とした募集対策において、募集対策を専門に行う分掌として設置した総務部の活動を軌道に乗せることができた。

(2) 重点目標への取組と自己評価 (達成度 100点満点)

① 補習・補講対策 (85点)

長期休業日等の補習・補講講座の進学対策の充実を図るため、長期休業日中の講座を58講座開講(昨年度64講座)開設した。

② 7時間目の自由選択講座、進学・検定対策 (65点)

7時間目の自由選択講座及び進学対策講座(補習講座と一部重複) 講座開設。

③ 5つの満足 (平均79%) (昨年度平均80%)

i 授業満足度 77% (昨年度76%)

生徒による授業評価等を反映した改善・工夫を行い、多様な進路希望に沿った学習指導を展開した。

ii 進路指導への満足度 72% (昨年度74%)

キャリア教育の全体計画にもとづきながら、家庭と連携した進路指導を推進し、進路ガイダンスにはのべ149名の保護者が参加した。

iii 生活指導への満足度 68% (昨年度68%)

担任の連携を強化し、相談体制の充実を図った。

iv 特別活動 90% (昨年度89%)

v 学校生活 89% (昨年度92%)

5つの満足度では、進路・学校生活を除くすべての項目で昨年を上回り、または高いレベルで維持することができた。進路指導への満足度を2ポイント落としているのは、今年度一般受験の進学希望者数が例年より多いことが影響しているのかもしれない。次年度以降も生徒のニーズを踏まえた取り組みについて引き続き検討が必要である。

④ 学校説明会・学校見学会 (90点)

学校説明会・学校見学会の参加者2790名(昨年度2958名)で高い数値を維持した。

⑤ 企業・大学との連携 (75点)

企業等の学校説明会・授業公開における本校来校者数 大学9名・企業9名(昨年度2名)、大学での講習会を校外の学修成果として本校で初めて単位認定することができた。

⑥ 中学校への出前授業 (80点)

中学校出前授業10校（昨年度16校）で実施した。

⑦ 中学校訪問 (65点)

教員による訪問を18校（昨年度74校）で実施した。生徒による母校訪問を125名で実施（昨年度90名）。

⑧ 求人企業の拡大 (60点)

求人企業数152社（昨年度200社）。

⑨ プレゼン講習会・デッサン講習会等 (80点)

プレゼンテーション講習会1回（昨年度1回）、デッサン講習会2回（昨年度2回）、ポートフォリオ講習会1回（21年度1回）を実施し、270名（昨年度300名）ほどの生徒が参加した。

⑩ 地域行事への参加 (80点)

湯島天神梅まつり、千代田区児童館「いずみ子どもプラザ」、文京区選挙管理委員会・ボランティアセンター、真砂市場等への参加及び作品提供を通じ地域行事への参加を行った。また、昨年度に続き中学校創造ものづくりフェアを本校で開催した。

⑪ 入試応募倍率の確保 (95点)

推薦4,03倍、一次入試1,5倍（昨年度推薦4.5、一次1.7）で目標値（推薦4.0、一次1.5）を達成した。

2 次年度以降の課題と対応策

① 学習指導では、多様化した生徒一人一人のニーズに的確に応えられるカリキュラムの工夫と、授業力の向上をさらに進める。

- ・進学を希望する生徒への普通科授業を充実させるため、放課後や土曜日、長期休業日を活用した補習・補講を計画的に展開するとともに、大手進学予備校との提携事業である土曜講習を効果的に運営する。
- ・就職や進学などに対応するため、専門科目の授業を一層充実させる。
- ・生徒一人一人の多様な進路実現支援を目指して、必修選択や自由選択、横断的な選択講座の設置など、カリキュラムを改善する。

② 進路指導では、キャリア教育の全体計画に基づく、3年間の系統的な指導の充実を図る。

- ・インターンシップを拡充する（協力企業の開拓と就職希望者の全員参加）
- ・進路指導部とホームルームとの連携による進路ガイダンスなどを計画的・効果的に実施する。
- ・進路情報は進学へとシフトしていることを踏まえ、的確な情報を生徒・保護者に伝えるため、引き続き「進路の手引き」等の更新を行う。

③ 生活指導では「心の相談体制」の充実を図る。

- ・スクールカウンセラー配置を受け、校内における「相談体制」を構築するとともに、教育相談センターや健康推進課による専門医派遣事業等の外部機関と連携を図りきめ細やかな指導を展開する。

④ 募集・広報活動は、総務部を中心に活動の精選と安定的な取り組みを推進する。

- ・今年度の課題を整理分析し次年度以降の活動計画を立案するとともに、学科改編等も含めた抜本的な見直しも検討する。また、デザイン・芸術系の都立学校との連携を進め、共同した広報活動の検討と実践を試みる。

⑤ 学校経営組織体制では、分掌の見直しに伴う業務分担の適正な評価と合理的な運営に務めるとともに、総務部を中心とした募集対策の精選を図り、新学習指導要領導入を踏まえた、中長期のビジョンを検討する将来構想プロジェクト委員会や教育課程委員会などの委員会が連携をしながら、将来設計をする。

- ・分掌活動計画を立て、具体的な活動内容と課題に効果的に取り組む。また、科の独自性を保ちつつ、

学校全体の統一的対応が可能な各分掌でのマニュアル作りを進める。

- 新学習指導要領に基づく教育課程の作成を進める中で、本校の教育ビジョンを検討し、具体的なプランを構築する。